



走り梅雨の時季

校長 石踊 晴元

深緑の色増す頃になりました。肌をなでる初夏の風も爽やかに心地よく感じられます。5月20日（月）は二十四節気の「小満（しょうまん）」でした。農村部などでは田植えも終わり、水田に柔らかな緑の早苗が揺れる時季でもあります。池田の畑ではさつまいもの葉が青々と生長している光景を目にします。日に日に夏めいてきてます。

先週からぐずついた天気が続いており、このような気候を「走り梅雨」と言うそうです。今月21日には沖縄・奄美地方が梅雨入りしたそうです。それに合わせて一足早く、通学路の紫陽花は赤い花を咲かせました。学校裏の紫陽花はつぼみを付け始めました。

錦江町の梅雨入りもそろそろでしょうか。雨の日の過ごし方を工夫しながら、6月の教育活動を滞りなく推進していきたいと考えています。



【通学路に咲いていた紫陽花】



【つぼみを付け始めた紫陽花】

再編統合を見据えた教育活動

令和6年度の教育活動がスタートして早2か月になります。1学期も半分過ぎたことになります。子供たちは、本校の教育活動と併せて、大根占小学校との再編統合に向けた教育活動を展開することになり、4小学校（大根占小、神川小、宿利原小、池田小）による「4校合同集合学習」等を学期1回、年3回実施することになりました。

そこで先日、本校の子供たちに「再編統合に関するアンケート」を実施しました。項目は、「大根占小学校での勉強や学校生活、友達関係」等です。

ほとんどの子供たちが大根占小学校への通学を楽しみにしているようですが、中には次のような不安感を抱いている子供もいます。

- 友達ができるか心配
- 友達に変なことをされそう
- 宿題が増えそう
- みんなに合わせて学習できるか不安
- 勉強が難しくなりそう
- 学校の決まりが違ってもいいかな
- 学校の中の場所が分からない

これらのことは、本校の全職員が共通理解した上で、今後の指導に生かして生きたいと考えています。

先日、1回目の「合同宿泊学習」「合同集合学習」を実施しました。4小学校の先生方が本活動のねらいを意識して、全員が楽しめる学習活動に取り組まれました。

本校の子供たちは、最初、人数の多さに戸惑ったものの、時や活動の流れとともに他校の子供たちと仲良くなり、楽しく活動する姿が多く見られ、安堵しました。「すぐ仲良くなれる」ことは、子供たちの特権かもしれません。

今回の「合同集合学習」等で、払拭されなかった不安感もあると思います。合同集合学習以外にも、各学年ごとの学習活動や行事等が計画されていますので、子供たちの不安や悩みを解消させていきたいと考えています。

保護者の方で、再編統合に関して気になることがございましたら、遠慮なく学校へ御一報ください。

